

平成28年第3回定例会一般質問通告概要一覧表

質問順	受付月日	9. 8	通告者	8番	藤原益栄
1番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>1. 図書館の運営について</p> <p>(1) 文学は、古典文学と現代文学と区別をして配架していただきたい。</p> <p>(2) 日本史と世界史は区別して配架していただきたい。</p> <p>(3) 歴史関係の辞書類で高い位置に配架されているものがある。手にしやすい位置に移動し、調査研究にも意を配していただきたい。</p> <p>(4) 多賀城関連コーナーを充実させていただきたい。</p> <p>①「多賀城関連文献」をもっと広く位置づけ、集約し、多賀城研究に寄与できるような配架にしていきたい。</p> <p>②行政資料を充実させていただきたい。</p> <p>③落ち着き機能的に郷土史研究ができるよう、テーブルの配置等を検討していただきたい。</p> <p>(5) 大場文庫は、旧図書館開館時に大場初代市長の寄付により購入した蔵書群である。本市図書館の歴史を考えた場合、同文庫は分散させないで配架すべきと考えるがいかがか。</p> <p>2. 総合治水対策について</p> <p>台風10号は、観測史上初めて東北を直撃した。いよいよ「総合治水対策」に、魂を込め取り組むべき時と考えるが、市長の見解を問う。</p>					

質問順	受付月日	9. 7	通告者	2番	戸津川 晴美
2番	答弁者	教育長	発言時間	30分	種別 一問一答

1. 就学援助の充実・改善について

市当局は、「子どもの貧困問題は、重要な課題である」との認識を示されました。そうであれば、経済的困難をかかえる家庭への援助である就学援助は、その充実・改善に向けて最大限の努力をすべきです。そこで次の4点について伺います。

- (1) 本市の就学援助要綱では、受給資格が「所得が保護基準額の1.0倍未満」となっていますが、これでは厳し過ぎます。この受給資格要件を緩和すべきです。
- (2) 「新入学児童生徒学用品等」の支給が6～7月頃であり、入学時期に間に合いません。支給時期を2～3月に改善すべきです。
- (3) より利用しやすい制度にするため、「申請書の提出先を学校でも可能とすること」「民生委員の意見書は、申請の要件からはずすこと」とすべきです。
- (4) 準要保護への国庫補助の復活を国に強く求められたい。

2. 市立図書館・児童書コーナーの改善について

子どもたちが利用しやすく、より本に親しめるコーナーにするため、次の3点について、早急な改善を求めます。

- (1) 読み聞かせコーナーは、子どもがお話に集中できる状態とは言えません。せめて仕切り、つい立て等が必要と考えます。
- (2) 絵本等は、本の表紙や絵が見えるような陳列（面立ち）をすることで、利用しやすく、選びやすくなると考えます。面立ちコーナーをもっと増やすべきではないでしょうか。
- (3) 子どもの手の届かない高い場所に本が並べられています。早急に改善すべきと思いますが、いかがですか。

質問順	受付月日	9. 8	通告者	11番	阿部正幸
3番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別
					一問一答
<p>1. 災害公営住宅におけるコミュニティづくりと見守り支援について</p> <p>被災された方々がプレハブ仮設住宅やみなし仮設住宅などから、既に完成した災害公営住宅に移り、新しい生活をスタートしています。今年5月に残念ながら孤立死の事例が発生しました。過去の大規模災害であります阪神・淡路大震災を教訓とし、コミュニティづくりと見守り支援は大事な課題です。その視点から3点お伺いします。</p> <p>(1) 本市におけるコミュニティづくりと見守り支援の状況について</p> <p>(2) 鶴ヶ谷地区災害公営住宅のコミュニティ形成支援について</p> <p>(3) 社協復興支えあいセンターは、何年度まで設置するか伺います。</p> <p>2. ドクターヘリ導入に伴う本市のランデブーポイントについて</p> <p>10月28日に導入される救急用医療ヘリコプター（ドクターヘリ）の運用開始に伴う本市におけるランデブーポイント（臨時離着陸場）の場所について伺います。今後、ランデブーポイントの設置計画について、どのようにお考えなのか伺います。</p>					

質問順	受付月日	9. 7	通告者	9番	佐藤 恵子
4番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別
					一問一答
<p>1. 地域の生活環境に関する問題について</p> <p>(1) 宮内地区の有価資源物置の粉じん等による住宅への被害防止対策は、前回私の質問以降どのように進んでいるのか。塀を大幅に越えての積み上げが続いている。引き続き必要な対応を求める。</p> <p>(2) 県道58号七ヶ浜多賀城線の下馬笠神トンネルから多賀城高校付近までの区間（七ヶ浜に向かって左）が夜間大変暗い。街路灯の設置を県に要請されたい。</p> <p>(3) 仙台港多賀城地区緩衝緑地公園内に特別管理産業廃棄物PCB保管施設がある。公園にふさわしくない施設であり、撤去するよう県に求めること。また、東口、北側入口にある建物の内部が大震災で壊れたままの状態にある。県に改修するよう求められたい。</p> <p>(4) 仙台パワーステーション（株）石炭火力発電所建設着工に関わり、環境等への影響について、住民説明会を行うよう企業に要請されたい。</p> <p>2. 子ども医療費拡充について</p> <p>県は、子ども医療費の通院費補助を就学前まで対象にすることを決めた。これをふまえ、本市も通院費補助を中学3年生まで拡充されたい。</p>					

質問順	受付月日	9. 7	通告者	1番	中田定行
5番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>1. 子どもの貧困対策について</p> <p>(1) 子どもの相対的貧困率の増加、とりわけひとり親家庭の貧困率が54.6%と非常に高い水準にあり、児童扶養手当の抜本的充実が必要と考えられます。支給額の引き上げ、支給対象の拡充（20歳未満の学生等まで）、支払いを毎月にする事、合わせて現行の補助率の引き上げを政府に対して求められたい。</p> <p>(2) 宮城県の生活保護世帯の子どもの高等学校等卒業後の進学率が、全国32.9%に対して、宮城県23.4%と9.5ポイントも低くなっています。貧困が原因とも考えられるので、給付型奨学金制度の創設について国・県などに働きかけ、経済的支援の充実を早期に実現されたい。</p> <p>(3) 現在の就学援助制度でカバーできない小・中学校入学時の援助を多賀城市独自で実施されたい。</p> <p>2. 災害公営住宅へのバス運行を</p> <p>ユーアイバスを災害公営住宅まで運行し、バス停を災害公営住宅の最寄りに設置されたい。</p>					

質問順	受付月日	9. 8	通告者	14番	雨森修一
6番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 総括
<p>1. 交通事故のない多賀城を目指して</p> <p>昭和45年6月、交通安全対策基本法が制定され、これに基づき昭和46年度以降9次にわたる交通安全基本計画（5年に1回）が策定、国、地方公共団体、関係民間団体等が一体となって交通安全対策が強力に推進された。昭和47年宮城県下で295人が交通事故死。当時全国的に交通戦争と呼ばれた時代であります。平成27年中交通事故死者数は県下で66人であり、その中で多賀城市内の交通事故死者数は平成23年より平成27年の5年間で13名であり、安全対策を求めるものであります。</p> <p>この5年間、高齢者事故死者数は9名であり、交通弱者の増加と共に子どもも含めて歩行者の安全確保がより一層求められます。</p> <p>地域の身近な生活道路、事故の9割以上が生活エリア内で発生している今日、加害者側も含めて人生を一瞬のうちに暗転させる交通事故、事故死をなくするため、事故防止対策の一段の努力が求められると考えます。</p> <p>今年は、第10次（平成28年度から平成32年度の5年間）国、県による交通安全計画、実施計画が作成されました。多賀城市としての交通安全の取り組みについて市長のお考えを伺います。</p>					

質問順	受付月日	9. 8	通告者	16番	昌浦泰己	
7番	答弁者	教育長	発言時間	30分	種別	一問一答
<p>1. 市内の小・中学校の学力向上と貧困対策について</p> <p>(1) 全国学力・学習状況調査で本市は小・中とも平成24から27の4ヶ年度連続で、全ての教科が全国の平均正答率より下という結果でした。このことを市教委としてはどのように分析しておられますか。</p> <p>(2) 市は秋田方式に倣って、より良い独自の学力強化策を立案すべきと存じますが、市教委のお考えはいかがなものでしょうか。</p> <p>(3) 市の教育の根幹は所得格差を教育格差にさせないという強い意志ではないでしょうか。そのようなお考えを市教委はお持ちでしょうか。</p> <p>(4) 小・中学校で給食後の歯磨きの時間を設けるべきと思いますが、市教委はどのようにお考えでしょうか。</p> <p>(5) 今、小・中学校でなすべきは、困窮する子どもの発見と、それを支援につなぐこと。そして学力を保障することです。現在どのような取り組みがありますか。また、将来はどのようになさいますか。</p>						

質問順	受付月日	9. 8	通告者	12番	齋藤裕子	
8番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別	一問一答

1. がん予防対策について

平成24年6月、新たに策定された「がん対策推進基本計画」に基づき、平成25年度から、がん予防教育事業が実施されています。

また、乳がんの患者数は若い女性を中心に年々増加しており、検診による早期発見で適切な治療を受ければ9割以上が治ると言われています。がんは死因の第1位といわれており、市民の皆様の健康を守るため次の2点について伺います。

- (1) 子供の頃からがんの予防教育を積極的に推進することは大変重要ですが、がん予防教育の現状と今後の取り組みについて伺います。
- (2) 乳がんはマンモグラフィー、エコー、触診検査の他に、毎月の自己触診も早期発見に重要とされています。自己触診で、乳房の変化が分かりやすい器具に、「乳房自己検診グローブ」の「自己触診補助用具（ブレストケアクラブ）」があります。自己検診の啓発と早期発見に繋げるため、若い世代の方々に、これらの自己検診用具を配布してはいかがでしょうか。

2. 鶴ヶ谷災害公営住宅について

鶴ヶ谷災害公営住宅は本年3月から入居開始となり、住みやすい環境づくりが課題になっています。鶴ヶ谷公営住宅の多くの入居者の方より、敷地内から砂押川の堤防への階段とスロープ及び手すりの設置について要望をいただいておりますが、早期設置への当局の取り組みを伺います。

3. 子ども医療費の拡充について

子ども医療費の通院無料化を本年10月から、小学校6年生まで拡大することは評価しますが、近隣市町や県内13市の実施状況と比べて、遅れているのが現状であります。宮城県では来年4月より、通院の補助対象を3歳未満児から6歳未満児まで拡大することが決定しており、拡大した分本市の財源が浮くことから、その財源を活用して中学3年生まで拡大してはいかがでしょうか。

質問順	受付月日	9. 6	通告者	15番	吉田 瑞生
9番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>1. 奈良「東大寺展」（平成30年4月予定）の開催にさきがけて、この間多賀城市に参られた東大寺別当等を記念表示することについて</p> <p>涌谷町では、来町された各東大寺別当について、黄金山神社境内に来町記念の標柱を建てて標示し、氏名や年月日等を表示し尊崇しております。</p> <p>(1) 多賀城市においても、平成25年3月10日「復興・多賀城“未来への祈り”」を目的に訪問され、政庁跡でおことばを述べられた北河原公敬別当等を、多賀城跡に標柱を建て表示して、足跡を後世に継承し敬意を表することについて。</p> <p>(2) また、東日本大震災からの復興を祈願して贈られた「籠たいまつ」が、平成25年4月19日政庁跡にて、東大寺以外の地で初めて火が灯されたことに関しても、標柱にて表示しその証を立てることについて。</p>					

質問順	受付月日	9. 8	通告者	4番	江口 正夫
10番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 総括
<p>1. 随意契約事務の適正化について</p> <p>5月に、「行政監査結果報告書」が報告され、随意契約事務について、改善すべき事項が示されました。その内容は以下のとおりです。</p> <p>① 随意契約を行った理由が適切でないもの並びに契約の適用号と理由が不一致なものがあること。</p> <p>② 1者特命随意契約の理由が希薄であり、また承認手続きが不十分なものがあること。</p> <p>③ 見積書の徴収が1者のみからの場合が相当多く、その理由が不十分なものがあること。</p> <p>随意契約ができる場合は、地自治法施行令及び多賀城市契約規則にその範囲、手続き、見積もりの徴収が規定されています。</p> <p>(1) 随意契約事務に改善すべき事項があることに、その原因は何に因るものとお考えですか。</p> <p>(2) 随意契約の適用号第2号の適用が、また1者見積徴収が、相当多くなって</p>					

いますが、契約の競争原理、質の向上について、どのようなことに留意されていますか。

- (3) 適正な事務を行うために、今後どのような改善策を考えるべきかと思えますか。

2. 防犯対策の改善について

本市は安全で快適に暮らせるまちづくりを目指し、市民協働で各種防犯対策を行っています。

しかしながら、毎年、不審者情報が多く発生している現状にあります。28年度も、7月現在18件の不審者情報があります。

学校周辺の路上、公園で、児童・生徒の下校時間帯に不審な行動が多く発生しています。

各種防犯対策がとられていますが、児童・生徒あるいは女性の安全・安心を守るため、さらなる対策が必要と思えます。

- (1) 不審者情報が多い現状について、ご所見をお伺いします。
- (2) 本市の、防犯灯のLED化の普及をどのように進めていくのか、お伺いします。
- (3) 初動対処用の緊急報知機の設置が必要と思えますが、お考えをお伺いします。

質問順	受付月日	9. 7	通告者	10番	森	長一郎
11番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別	一問一答
1. 防災情報の周知と共有について						
(1) 暴風、豪雨時は、防災無線の音が聞き取りにくい。防災ラジオの全戸配布により、防災FM発信と併用してはいかがか。						
(2) 避難準備情報、避難勧告、避難指示の意味を再確認し、施設、各地域での周知を願う。						
2. 下馬駅前整備について						
(1) 下馬駅前整備について、駅前広場のリニューアル構想の進展を伺う。						
(2) 新折越踏切の歩道の確保、拡幅を願う。						